

時間割コード	G1D11106	開講年度	2026				
授業題目	アカデミック・イングリッシュ・フェイズ I (A) (初級)				担当教員	足立 総世	
英文授業名	Academic English Phase I (A)						
単位数	1	講義期間	前期	曜日・時限	水曜・2時限	対象学生	S I (6)
講義室	共通教育 2 6 講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素				⇔	【授業の達成目標】	
	大学DP						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力				⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。	
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	上述の目標を達成するために、Academic Reading及びAcademic Writingの演習を行う。 ・Academic Reading: アカデミックレベルの語彙を修得し、文法や構文の正しい理解を基に学術的な英文を読解する。 ・Academic Writing: 文法・語法、コロケーションの演習、アカデミックレベルの語彙の確認、自然な英語表現を身につけるための演習を行いながら、正確かつ確な英文を書く。						
(5)授業のキーワード	Academic Reading Academic Writing Natural Expression						
(6)授業計画	第1週：オリエンテーション / 「良い文章とは何か」について考える 第2週：Writing Skills ① (Unit 1) 第3週：Writing about yourself (Unit 1) 第4週：Writing about another person (Unit 1) 第5週：Writing Skills ② (Unit 2) 第6週：Writing about food or drink (Unit 2) 第7週：Writing about a special food (Unit 2) 第8週：Writing Skills ③ (Unit 3) 第9週：Writing about a special event (Unit 3) 第10週：Writing about a celebration (Unit 3) 第11週：Writing Skills ④ (Unit 4) 第12週：Writing about the qualities of a person or a pet (Unit 4) 第13週：Writing about a person (Unit 4) 第14週：読解・ライティングの演習 ① 第15週：読解・ライティングの演習 ② 第16週：期末試験・授業アンケート ＊各回の教科書の該当ページなどの詳細はeALPSに掲載します。						
(7)成績評価の方法	・Academic Reading/Academic Writingに関する授業期間中の習熟度を測る課題：eALPSでの小テスト＋ライティング小課題 (60%) ・期末テスト (40%) この授業の達成目標に到達するために必要な出席回数に満たない場合は、成績評価の対象外とし、評点は0点となります。						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・必ず授業範囲の予習や事前課題に取り組んで授業に出席する。また授業時間内外の課題を締切までに提出する。						
(10)履修上の注意	グループワークをスムーズに行うため、必ず事前課題に取り組んだ上で授業に参加すること。ノートPCまたはタブレットを持参する。詳細は第1回のオリエンテーションで説明。						
(11)質問,相談への対応	質問・疑問は授業中にクラスで共有されることが望ましいが、個別の質問や相談を希望の場合は、授業前後または以下のメールアドレスへの質問・相談を受け付ける。 m_adachi@shinshu-u.ac.jp						
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外(評点は0点)となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。						

(12)授業への出席	・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	Milada Broukal他, Weaving It Together, Fourth Edition, Book 2, 978-1-305-25165-6, Cengage, 2016年, 3930円
【参考書】	指定しない